

道徳

「指導者用デジタル教材」を用いた授業展開例

中学校 第2学年 道徳科 学習指導案

東京都世田谷区立用賀中学校
校長 毛利 慎治

主題名 あなたらしさとは

教材名 心のアンテナ（1時間）

内容項目 A 向上心、個性の伸長

関連する
内容項目 B 相互理解、寛容

本時の
ねらい 「私」の葛藤や発見を教材で追体験することを通して、自らの個性に気づき、伸ばし、自分らしく生きていこうとする態度を育てる。

指導時期 6月頃

「指導者用デジタル教材活用の特徴」

- 導入場面で動画コンテンツを視聴することで、小中学生時代の中川さんの心の動きを理解して、教材に入り込みやすくなることが期待できる。また、中川さんを知らない生徒も授業に参加しやすくなる。
- 朗読音声は、範読に苦手意識がある教員の助けになる。また、プロによる朗読を聴くことは、紙面を読むよりも生徒に感情が伝わりやすいと考えられる。
- 心情メーターを活用することで、自分の意見をなかなか言えない生徒もAかBかという意見を出しやすくなり、全員が当事者意識をもって授業に参加することができる。また、心情メーターであらかじめ自分の気持ちを表しておくことで話し合いの基準になり、議論がしやすくなる。
- これまでは限られた人数での意見交換しかできなかったが、思考ツールを活用して複数の生徒同士で意見を共有し合うことで、より多くの友達の考え方を知ったり、幅広い価値に触れたりすることができる。

本時の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用 ★評価
導入	1. 自分らしさについて考え、発表する。 ● 「あなたらしさは？」と聞かれたら、どのように答えるだろうか。〈導入〉 ● 料理好きなところ ● アニメに詳しいところ ● おばあちゃんには「人に優しいね」と言われる ● 「指導者用デジタル教材」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。	● リラックスした雰囲気始めるようにする。

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用 ★評価
展開	2. 「心のアンテナ」を読み、話し合う。 ●「心には黒い気持ちがざわざわと広がって」とあるが、「私」は、どのような思いだったのだろう。〈学びの道しるべ1〉 ●寂しすぎる、なんで私だけ ●どうしたら話の輪に入れるの？ ●級友たちはどう思っていたのだろう。〔補助発問〕 ●輪に入れてあげたいけど、彼女いつものことだし ●話題が合わないからいいかな ●このメンバーで話しているのが楽しいからいいかな ●「自分の居場所をようやく見つけられたような」気がした「私」は、どのようなことを考えていたのだろう。〈学びの道しるべ2〉 ●私のことをわかってくれる人もいる ●自分から発信することが大切なんだ ●愚痴ではなく、言霊を信じて書いたら、本当に「好きの循環」が起こってうれしい ●あなたの心のアンテナが動くものを、たくさん書き出してみよう。〈学びの道しるべ3〉 ●動画をよくみるから、自分も配信する側になりたい ●バスケットボールをずっと続け、海外で選手として活躍したい ●動物に関するボランティアをしたい ●会社経営をしたい 3. 筆者のインタビュー動画を視聴する。 ●中川さんのインタビュー動画を視聴して、今日の授業を振り返り、自分の考えを書いてみよう。〈補助発問〉 ●中川さんの生き方素敵。参考にしたい ●「言霊」という言葉好きだな ●自分らしくしっかり生きていきたい	著者（中川翔子さん）による朗読音声を活用する。 ●4人グループで、「私」と級友、それぞれの気持ちについて話し合わせる。 ★話し合う様子 ●「私」自身の努力や物事の捉え方の変化だけでなく、周囲からの共感が、居場所づくりに大きな影響を与えたことにも気づかせたい。 ★発言 生徒の「心のアンテナが動くもの」をふせん機能や思考ツールのウェビングなどを使って書かせ、クラス全員で共有する。無記名でもよい。 筆者（中川翔子さん）のインタビュー動画をそれぞれのタブレット端末で視聴させる。 ★記述
終末	4. 教師の説話を聞く。 ●級友たちの気持ちについても話し合わせた意図を教師から聞く。 「授業の最初に、級友たちの気持ちについても考えてもらいました。自分の心のアンテナ、『好き』を大切にすることはもちろんのこと、他の人のアンテナも大切にできるとさらによいですね。」	●本時と関連する内容項目「相互理解、寛容」にも触れながら、教師の説話をしたい。ここでは、展開前段でいじめをする側の気持ちを考えさせた教師の思いを説話としている。 ★聞く態度

「指導者用デジタル教材を活用したことで得られた効果」

〈朗読音声〉

プロによる朗読音声を聞くことで生徒は教材に入り込みやすくなり、非常に効果的である。教員は範読の準備をしなくてよくなるため、その分教材研究や準備の時間を多くとることができる。

〈ふせん機能〉

テキスト入力で、だれが書いたか筆跡で分かってしまうということがないため、生徒は安心感を持って自由に発言することができる。ちょっとした自分の意見もふせんを使って入力するなど、日常的に使用することを目指したい。授業前に導入の『あなたらしさ』を調べてふせんに記入しておくことで生徒は授業に入り込みやすくなり集中して学習に取り組むことができる。

〈思考ツール〉

思考ツールを活用することで、ワークシートやホワイトボードを活用する方法よりも、多くの他者の考えに触れながら自分の考えや行動を振り返ることができる。